

厚生労働省

表13-4 厚生労働省における政策評価の結果及びこれらの政策への反映状況（個表）

政策ごとの評価結果については、

総務省ホームページ (http://www.soumu.go.jp/main_sosiki/hyouka/seisaku_n/seisaku_fusyou.html) を参照されたい。

また、政策評価の結果の政策への反映状況は、以下の一覧のとおりである。

1 事前評価

表13-4-(1) 新規個別事業等を対象として事前評価した政策

No.	政策の名称	政策評価の結果の政策への反映状況
1	「国民の安心を守る肝炎対策強化推進」事業（新規）	評価結果を踏まえ、平成23年度予算概算要求を行った。 平成23年度予算概算要求：3,853百万円（予算額：3,544百万円）
2	子宮頸がん予防対策強化事業	平成23年度予算概算要求：14,960百万円（平成23年度予算概算要求は取り下げ。子宮頸がん等ワクチン接種緊急事業として、平成22年度補正予算108,536百万円を計上。）
3	働く世代への大腸がん検診推進事業	評価結果を踏まえ、平成23年度予算概算要求を行った。 平成23年度予算概算要求：5,505百万円（予算額：4,082百万円）
4	「職場における受動喫煙防止対策」事業（新規）	評価結果を踏まえ、平成23年度予算概算要求を行った。 平成23年度予算概算要求：432百万円（予算額：432百万円）
5	「職場におけるメンタルヘルス対策の促進」事業（一部新規）	評価結果を踏まえ、平成23年度予算概算要求を行った。 平成23年度予算概算要求：661百万円（予算額：661百万円）
6	就職活動準備事業（新規）	評価結果を踏まえ、平成23年度予算概算要求を行った。 平成23年度予算概算要求：1,106百万円（予算額：503百万円）
7	「実践的な職業能力開発支援の実施」事業	評価結果を踏まえ、平成23年度予算概算要求を行った。 平成23年度予算概算要求：3,103百万円（予算額：2,699百万円）
8	両立支援に関する雇用管理改善事業（新規）	評価結果を踏まえ、平成23年度予算概算要求を行った。 平成23年度予算概算要求：348百万円（予算額：320百万円）
9	「地域医療支援センター（仮称）運営支援」事業（新規）	評価結果を踏まえ、平成23年度予算概算要求を行った。 平成23年度予算概算要求：1,714百万円（予算額：546百万円）
10	「チーム医療実証」事業（新規）	評価結果を踏まえ、平成23年度予算概算要求を行った。 平成23年度予算概算要求：1,556百万円（予算額：365百万円）
11	医療情報データベース基盤整備事業	評価結果を踏まえ、平成23年度予算概算要求を行った。 平成23年度予算概算要求：1,102百万円（予算額：373百万円）

表13-4-(2) 個別公共事業を対象として事前評価した政策

No.	政策の名称	政策評価の結果の政策への反映状況
1	簡易水道等施設整備事業（16(3)地区）	評価結果を踏まえ、16(3)地区を採択する。
2	水道水源開発等施設整備事業（31(12)地区）	評価結果を踏まえ、31(12)地区を採択する。

(注) 本表の地区表のうち、()内は、平成21年度予算にかかる新規採択時評価の対象地区数であり、内数。

表13-4-(3) 個別研究開発を対象として事前評価した政策

No.	政策の名称	政策評価の結果の政策への反映状況
1	厚生労働科学研究費補助金による研究事業（27事業）	評価結果を踏まえ、27事業につき、平成23年度予算概算要求を行った。 平成23年度予算概算要求：38,228百万円（予算額：38,128百万円）
2	基礎研究推進事業費（1事業）	評価結果を踏まえ、1事業につき、平成23年度予算概算要求を行った。 平成23年度予算概算要求：4,664百万円（予算額：4,599百万円）

表13-4-(4) 規制を対象として事前評価した政策

No.	政策の名称	政策評価の結果の政策への反映状況
1	医薬品に関する広告制限の対象の追加（結腸・直腸がん治療薬「パニツムマブ」及びその製剤について）	適切な規制として、薬事法施行令を改正し、「パニツムマブ」及びその製剤を広告制限の対象に追加した。
2	医薬品に関する広告制限の対象の追加（多発性骨髄腫治療薬「レナリドミド」及びその製剤について）	適切な規制として、薬事法施行令を改正し、「レナリドミド」及びその製剤を広告制限の対象に追加した。
3	医薬品に関する広告制限の対象の追加（リンパ腫治療薬「ベンダムスチン」、その塩類及びそれらの製剤について）	適切な規制として、薬事法施行令を改正し、「ベンダムスチン」、その塩類及びそれらの製剤を広告制限の対象に追加した。
4	「酸化プロピレン等に係る労働者の健康障害防止対策のための規制強化」について	適切な規制として、労働安全衛生法を改正し、酸化プロピレン等に係る労働者の健康障害防止対策のための規制を強化した。
5	「石綿に係る労働者の健康障害防止対策のための規制強化」について	適切な規制として、労働安全衛生法を改正し、石綿に係る労働者の健康障害防止対策のための規制を強化した。
6	「毒物及び劇物指定令の改正（劇物の指定及び指定除外）」について（2件）	適切な規制として、毒物及び劇物指定令を改正し、新たな劇物の指定及び指定の除外を行った。
7	「毒物及び劇物取締法施行令の改正」について	適切な規制として、毒物及び劇物取締法施行令を改正し、対象毒物及び劇物の取扱手段に係る所要な規定を設けた。
8	医薬品に関する広告制限の対象の追加（骨髄異形成症候群治療薬「アザシチジン」及びその製剤について）	適切な規制として、薬事法施行令を改正し、「アザシチジン」及びその製剤を広告制限の対象に追加した。
9	「認定職業訓練の認定制度の創設等」について	適切な規制として、認定職業訓練の認定制度の創設等を盛り込んだ、職業訓練の実施等による特定求職者の就職の支援に関する法律案を国会に提出した。
10	「有料老人ホーム等における前払金の返還に関する利用者保護」について	適切な規制として、老人福祉法を改正し、有料老人ホーム等における前払金の返還について、利用者を保護する規定を設けた。

表 13-4-(5) 租税特別措置等を対象として事前評価した政策

No.	政策の名称	政策評価の結果の政策への反映状況
1	事業基盤強化設備に係る特別償却制度等の適用期限の延長	生活衛生関係事業者等が一定価格以上の機械及び装置並びに器具及び備品を取得した場合に取得価額の30%の特別償却又は取得価額の7%の税額控除できる措置を平成24年度末までの2年間延長する要望を行った。
2	生活衛生同業組合等及び消費生活協同組合等の貸倒引当金の特例措置の適用期限の延長	生活衛生同業組合等及び消費生活協同組合等の貸倒引当金に係る損金算入限度額の特例措置(通常116%相当額)の適用期限を平成24年度末までの2年間延長する要望を行った。
3	生活衛生同業組合等及び消費生活協同組合等の留保所得に係る特別控除制度の適用期限の延長	生活衛生同業組合等及び消費生活協同組合等の留保所得の特別控除制度(留保金額の32%相当額)の適用期限を平成24年度末までの2年間延長する要望を行った。
4	事業基盤強化設備に係る特別償却制度等の適用期限の延長	生活衛生関係事業者等が一定価格以上の機械及び装置並びに器具及び備品を取得した場合に取得価額の30%の特別償却又は取得価額の7%の税額控除できる措置を平成24年度末までの2年間延長する要望を行った。
5	生活衛生同業組合等及び消費生活協同組合等の貸倒引当金の特例措置の適用期限の延長	生活衛生同業組合等及び消費生活協同組合等の貸倒引当金に係る損金算入限度額の特例措置(通常116%相当額)の適用期限を平成24年度末までの2年間延長する要望を行った。
6	生活衛生同業組合等及び消費生活協同組合等の留保所得に係る特別控除制度の適用期限の延長	生活衛生同業組合等及び消費生活協同組合等の留保所得の特別控除制度(留保金額の32%相当額)の適用期限を平成24年度末までの2年間延長する要望を行った。
7	産業活力再生特別措置法に係る税制上の特例措置の拡充	産業活力再生特別措置法に基づく認定事業再構築計画等により会社の設立、増資等を行う場合に登録免許税の税率を軽減するが、その対象を拡充する要望を行った。
8	試験研究費の総額に関する税額控除制度の拡充	試験研究費の総額に関する税額控除制度について、控除限度の引上げ(税額の20%→30%)等の要望を行った。
9	グリーン投資減税	政策目標等に基づき今後横断的に普及加速化を促す必要のあるものであって、相当程度の効果(エネルギー起源CO ₂ 排出削減又は再生可能エネルギー導入拡大)が見込まれる設備・機器を取得し、その後1年以内に事業の用に供した場合に税制優遇を受けられるものとする要望を行った。
10	サービス付き高齢者向け住宅供給促進税制	新築されたサービス付き高齢者向け住宅を取得し又は新築して、これを賃貸の用に供した場合には、5年間2.8割増(耐用年数35年以上のものについては4.0割増)で償却することができる等の対象を拡充する要望を行った。
11	医業継続に係る相続税・譲与税の納税猶予等の特例措置	持分のある医療法人のうち、期限(最長3年間)を定めて持分のない医療法人への移行を進める医療法人について、特例措置を創設する要望を行った。
12	医療安全に資する医療機器等の導入に係る特別償却制度の適用期限の延長	医療保健業を営む個人又は法人が、医療安全に資する医療機器等を取得した場合に、取得価格の20%の特別償却を認める特別措置の適用期限を2年間延長する要望を行った。
13	医療用機器に係る特別償却制度の適用期限の延長	医療保健業を営む個人又は法人が、取得価格500万円以上の医療用機器(高度な医療の提供に資するもの又は承認等を受けてから2年以内のもの)を取得した場合に、取得価格の14%の特別償却が現行認められているが、この特別措置の適用を延長する要望を行った。
14	事業主が存在しない等の理由によって企業年金等に移行できない適格退職年金に関する税制優遇措置の継続	事業主が存在しない等の理由によって企業年金等に移行できない適格退職年金について、廃止期限(平成24年4月1日)後も、税の優遇措置(運用時:非課税、給付時:公的

		年金等控除、退職所得控除等)を継続する要望を行った。
15	共同利用施設の特別償却制度の延長	生活衛生同業組合(出資組合に限る。)及び生活衛生同業小組合が策定する振興計画に基づく共同利用施設に係る特別償却制度の適用期限を平成24年度末までの2年間延長する要望を行った。
16	公害防止用設備の特別償却制度の延長	公害防止用の特定設備(300万円以上の活性炭吸着回収装置)の取得に係る特別償却制度の適用期限を平成24年度末までの2年間延長する要望を行った。
17	企業年金等の積立金に対する特別法人税の撤廃	企業年金等(厚生年金基金、確定拠出年金、確定給付企業年金、勤労者財産形成給付金及び勤労者財産形成基金)の積立金に対する特別法人税を撤廃する要望を行った。
18	障害者を多数雇用する事業所に係る税制上の特例措置	障害者を雇用する場合の機械等の割増償却制度について、3年間延長するとともに、重度障害者の一層の雇用促進を図る観点から、適用対象を拡大する要望を行った。また、不動産取得税の減額措置及び固定資産税の課税標準の特例措置について、適用期限を2年間延長する要望を行った。
19	譲渡所得に係る特別控除の特例の障害者通所サービス等への範囲の拡充	譲渡所得に係る特別控除の特例の対象を、障害福祉サービス事業(療養介護、生活介護、自立訓練、就労移行支援、就労継続支援、共同生活援助(グループホーム)及び共同生活介護(ケアホーム))等に拡充する要望を行った。
20	新型インフルエンザ対策に係る医療提供体制整備促進税制の延長	新型インフルエンザ対策に係る医療提供体制整備促進税制の延長する要望を行った。
21	地震防災対策用資産の取得に関する特例措置(所得税・法人税)	地震防災対策用資産(緊急地震速報受信装置及び関連設備)の取得に関する特別償却制度の適用期限を3年間(平成26年3月31日まで)延長する要望を行った。
22	中小企業等基盤強化税制(中小企業情報基盤強化税制)の延長	製造業や卸売業、サービス業などの中小事業者が行う情報基盤強化設備等について、取得額の7%の税額控除又は30%の特別償却を措置する「中小企業等基盤強化税制(中小企業情報基盤強化税制)」について、対象設備の見直しを行った上で適用期限を2年間延長する要望を行った。
23	産業活力再生特別措置法に係る税制上の特例措置の延長	産業活力再生特別措置法に基づく認定事業再構築計画等により事業の譲渡及び一定の要件を満たす資産譲渡に伴い不動産を取得し、かつ、当該認定計画に係る事業の用に供したときは当該不動産に係る不動産取得税の税率を軽減する措置の適用期限を延長する要望を行った。
24	平成12年度医療法改正による改正後の構造設備基準に適合した病院等への建替えに係る特別償却制度の適用期限の延長	平成12年医療法改正による改正後の構造設備基準に適合した病院・有床診療所への建替えを行った場合の建物について、取得初年度に基準取得価格(取得価格の1/2)の15%を割増償却できるが、この制度を平成23年度以降も延長する要望を行った。
25	療養病床の転換に係る特別償却制度	療養病床を老人保健施設等に転換するための改修等を行った場合に、当該年度の法人税について、基準取得価格(取得価額の50%)の15%の特別償却を行うことができる制度の適用期限を延長する要望を行った。
26	中小企業等基盤強化税制(教育訓練費)	中小企業者の教育訓練投資額の8%~12%に相当する金額を法人税額等より控除する特例措置について、税制の対象となる教育訓練費割合の下限を0.25%に引き上げた上で適用期限を2年間延長する要望を行った。
27	「重度障害者等施設設置等助成金(仮称)」の創設に伴う税制上の所要の措置	障害者を多数雇用する場合に、新設する助成金を受け取得した事業用施設等について、不動産取得税の減額措置、固定資産税の課税標準の特例措置及び事業所税(資産割)の課税標準の恒久特例措置が適用されるよう要望を行った。
28	新たな次世代育成支援のための包括的・一元的な制度の構築のための税制上の所要の措置	「子ども・子育て新システムの基本制度案要綱」(平成22年6月29日少子化社会対策会議決定)において、事業ごと

	に所管や制度、財源が様々に分かれている現在の子ども・子育て支援対策を再編成し、幼保一体化を含め、制度・財源・給付について、包括的・一元的な制度を構築することとされており、これを踏まえ、必要となる税制上の所要の措置を講じるよう要望を行った。
--	---

2 事後評価

表13-4-(6) 実績評価方式により事後評価した政策

No.	政策の名称	政策評価の結果の政策への反映状況
1	「日常生活圏の中で良質かつ適切な医療が効率的に提供できる体制を整備すること」について	【改善・見直し】 評価結果を踏まえ、平成23年度予算概算要求及び定員要求を行った。 平成23年度予算概算要求：40,427百万円（予算額：36,587百万円） 定員要求：地域医療における医師確保及び医療連携の推進のための体制整備の強化のため、平成23年10月より、医師確保対策専門官（1人）を新たに設置する予定。
2	「総合的な医療安全確保対策の推進を図ること」について	【引き続き推進】 評価結果を踏まえ、平成23年度予算概算要求を行った。 平成23年度予算概算要求：556百万円（予算額：483百万円）
3	「政策医療を向上・均てん化させること」について	【改善・見直し】 評価結果を踏まえ、平成23年度予算概算要求を行った。 平成23年度予算概算要求：79,833百万円（予算額：71,863百万円）
4	「感染症の発生・まん延の防止を図ること」について	【改善・見直し】 評価結果を踏まえ、平成23年度予算概算要求を行った。 平成23年度予算概算要求：26,583百万円（予算額：22,053百万円）
5	「適正な移植医療を推進すること」について	【改善・見直し】 評価結果を踏まえ、平成23年度予算概算要求を行った。 平成23年度予算概算要求：1,897百万円（予算額：1,891百万円）
6	「医薬品等の品質確保の徹底を図るとともに、医薬品等の安全対策等を推進すること」について	【改善・見直し】 評価結果を踏まえ、平成23年度予算概算要求を行った。 平成23年度予算概算要求：3,755百万円（予算額：2,997百万円）
7	「健康な献血者の確保を図り、血液製剤の国内自給、使用適正化を推進し、安全性の向上を図ること」について	【改善・見直し】 評価結果を踏まえ、平成23年度予算概算要求を行った。 平成23年度予算概算要求：472百万円（予算額：473百万円）
8	「希少疾病ワクチン・抗毒素の国家備蓄を行うとともに、各種ワクチンの需要に応じた安定供給を図ること」について	【引き続き推進】 評価結果を踏まえ、平成23年度予算概算要求を行った。 平成23年度予算概算要求：2,064百万円（予算額：754百万円）
9	「新医薬品・医療機器の開発を促進するとともに、医薬品産業等の振興を図ること」について	【改善・見直し】 評価結果を踏まえ、平成23年度予算概算要求及び定員要求を行った。 平成23年度予算概算要求：6,815百万円（予算額：3,876百万円）

		定員要求：後発医薬品使用促進のための体制整備の強化のため、平成23年10月より、後発医薬品使用促進専門官（1人）を新たに設置する予定。
10	「適正かつ安定的・効率的な医療保険制度を構築すること」について	【引き続き推進】 評価結果を踏まえ、平成23年度予算概算要求を行った。 平成23年度予算概算要求：17,240,850百万円（予算額：17,277,091百万円）
11	「健康危機が発生した際に迅速かつ適切に対応するための体制を整備すること」について	【引き続き推進】 評価結果を踏まえ、平成23年度予算概算要求及び定員要求を行った。 平成23年度予算概算要求：46百万円（予算額：46百万円）
12	「労働者の安全と健康が確保され、労働者が安心して働くことができる職場づくりを推進すること」について	【改善・見直し】 評価結果を踏まえ、平成23年度予算概算要求及び定員要求を行った。 平成23年度予算概算要求：18,183百万円（予算額：18,033百万円） 定員要求：本省（3名要求、査定後3名）、地方労働局（49名要求、査定後45名）
13	「被災労働者等の社会復帰促進・援護等を図ること」について	【改善・見直し】 評価結果を踏まえ、平成23年度予算概算要求を行った。 平成23年度予算概算要求：169,333百万円（予算額：168,114百万円）
14	「豊かで安定した勤労者生活の実現を図ること」について	【引き続き推進】 評価結果を踏まえ、平成23年度予算概算要求及び機構要求を行った。 平成23年度予算概算要求：9,378百万円（予算額9,363百万円）
15	「労使関係が将来にわたり安定的に推移するよう集团的労使関係のルール確立及び普及等を図るとともに集团的労使紛争の迅速かつ適切な解決を図ること」について	【改善・見直し】 評価結果を踏まえ、平成23年度予算概算要求を行った。 平成23年度予算概算要求：819百万円（予算額：813百万円）
16	「労働保険適用促進及び労働保険料等の適正徴収を図ること」について	【改善・見直し】 評価結果を踏まえ、平成23年度予算概算要求を行った。 平成23年度予算概算要求：1,451百万円（予算額：1,447百万円）
17	「公共職業安定機関等における需給調整機能の強化及び労働者派遣事業等の適正な運営を確保すること」について	【改善・見直し】 評価結果を踏まえ、平成23年度予算概算要求を行った。 平成23年度予算概算要求：66,134百万円（予算額：64,186百万円）
18	「地域、中小企業、産業の特性に応じ、雇用の創出及び雇用の安定を図ること」について	【改善・見直し】 評価結果を踏まえ、平成23年度予算概算要求を行った。 平成23年度予算概算要求：490,599百万円（予算額：449,514百万円）
19	「高齢者・障害者・若年者等の雇用の安定・促進を図ること」について	【改善・見直し】 評価結果を踏まえ、平成23年度予算概算要求を行った。 平成23年度予算概算要求：160,642百万円（予算額：149,986百万円）
20	「雇用保険制度の安定的かつ適正な運営及び求職活動を容易にするための保障等を図ること」について	【引き続き推進】 評価結果を踏まえ、平成23年度予算概算要求及び定員要求を行った。 平成23年度予算概算要求：2,679,017百万円（予算額：2,029,790百万円） 定員要求：非常勤職員の削減（▲100人）
21	「若年者等に対して段階に応じた職業キ	【改善・見直し】

	キャリア支援を講ずること」について	評価結果を踏まえ、平成23年度予算概算要求を行った。 平成23年度予算概算要求：2,810百万円（予算額：2,810百万円）
22	「福祉から自立へ向けた職業キャリア形成の支援等を行うこと」について	【改善・見直し】 評価結果を踏まえ、平成23年度予算概算要求を行った。 平成23年度予算概算要求：7,044百万円（予算額：6,803百万円）
23	「男女労働者が多様な個性や能力を發揮でき、かつ仕事と家庭の両立ができる雇用環境及び多様な就業ニーズに対応した就業環境を整備すること」について	【改善・見直し】 評価結果を踏まえ、平成23年度予算概算要求を行った。 平成23年度予算概算要求：13,930百万円（予算額：13,588百万円）
24	「母子家庭の母等の自立のための総合的な支援を図ること」について	【改善・見直し】 評価結果を踏まえ、平成23年度予算概算要求を行った。 平成23年度予算概算要求：3,644百万円の内数（予算額：3,538百万円の内数）
25	「地域社会のセーフティネット機能を強化し、地域の要援護者の福祉の向上を図ること」について	【改善・見直し】 評価結果を踏まえ、平成23年度予算概算要求を行った。 平成23年度予算概算要求：20,000百万円の内数（予算額：20,000百万円の内数）
26	「災害に際し応急的な支援を実施すること」について	【引き続き推進】 評価結果を踏まえ、平成23年度予算概算要求を行った。 平成23年度予算概算要求：200百万円（予算額：200百万円）
27	「旧陸海軍に関する人事資料を適切に整備保管すること及び旧陸海軍に関する恩給請求書を適切に進達すること」について	【改善・見直し】 評価結果を踏まえ、平成23年度予算概算要求を行った。 平成23年度予算概算要求：312百万円（予算額：306百万円）
28	「障害のある人も障害のない人も地域とともに生活し、活動する社会づくりを推進すること」について	【改善・見直し】 評価結果を踏まえ、平成23年度予算概算要求を行った。 平成23年度予算概算要求：1,198,479百万円（予算額：1,172,238百万円）
29	「企業年金等の健全な育成を図ること」について	【改善・見直し】 評価結果を踏まえ、平成23年度予算概算要求及び定員要求を行った。 平成23年度予算概算要求：23百万円（予算額：23百万円） 定員要求：企業年金制度の企画・審査業務の充実・改善を図るための必要な人員（本省2名、地方厚生局15名）について要求した。（定員：本省1名、地方厚生局10名）
30	「企業年金等の適正な運営を図ること」について	【改善・見直し】 評価結果を踏まえ、平成23年度予算概算要求を行った。 平成23年度予算概算要求：1,444百万円（予算額：1,444百万円）
31	「二国間等の国際協力を推進すること」について	【改善・見直し】 評価結果を踏まえ、平成23年度予算概算要求を行った。 平成23年度予算概算要求：436百万円（予算額：417百万円）
32	「国立試験研究機関の適正かつ効果的な運営を確保すること」について	【改善・見直し】 評価結果を踏まえ、平成23年度予算概算要求及び定員要求を行った。 平成23年度予算概算要求：3,817百万円（予算額：3,817百万円）

表13-4-(7) 事業評価方式により事後評価した政策

No.	政策の名称	政策評価の結果の政策への反映状況
-----	-------	------------------

1	在宅緩和ケア対策推進事業	【廃止、休止、中止】 評価結果を踏まえ、平成23年度予算概算要求を行わなかった。
2	へき地巡回診療へり運営事業	【改善・見直し】 評価結果を踏まえ、予算の効率的な活用を行うため、平成23年度予算要求より巡回診療車、巡回診療船の運営事業と統合し、より都道府県の判断を尊重する仕組みとした。 平成23年度予算概算要求：30百万円（予算額：6百万円）
3	小児救急電話相談事業	【引き続き推進】 評価結果を踏まえ、平成23年度予算概算要求を行った。 平成23年度予算概算要求：237百万円（予算額：237百万円）
4	医療情報システムの相互運用性確保のための対向試験ツール開発事業	【引き続き推進】 評価結果を踏まえ、平成23年度予算概算要求を行った。 平成23年度予算概算要求：92百万円（予算額：89百万円）
5	医療情報システムのための医療知識基盤データベース研究開発事業	【引き続き推進】 評価結果を踏まえ、平成23年度予算概算要求を行った。 平成23年度予算概算要求：160百万円（予算額：160百万円）
6	病原体等管理体制整備事業	【引き続き推進】 評価結果を踏まえ、平成23年度予算概算要求を行った。 平成23年度予算概算要求：75百万円（予算額：75百万円）
7	がん検診実施体制強化モデル事業	平成20年度限りで廃止
8	マンモグラフィ検診従事者研修事業	【引き続き推進】 評価結果を踏まえ、平成23年度予算概算要求を行った。 平成23年度予算概算要求：42百万円（予算額：42百万円）
9	過重労働による健康障害防止のための自主的改善対策事業	【廃止、休止、中止】 評価結果を踏まえ、平成23年度予算概算要求を行わなかった。
10	ハローワークにおける正社員就職増大対策の推進	【廃止、休止、中止】 評価結果を踏まえ、平成23年度予算概算要求を行わなかった。
11	マザーズハローワーク事業	【引き続き推進】 評価結果を踏まえ、平成23年度予算概算要求を行った。 平成23年度予算概算要求：2,217百万円（予算額：2,212百万円）
12	「70歳まで働ける企業」推進プロジェクト	【引き続き推進】 評価結果を踏まえ、平成23年度予算概算要求を行った。 平成23年度予算概算要求：182百万円（予算額：163百万円）
13	ジョブカフェ等によるきめ細やかな就職支援	【引き続き推進】 評価結果を踏まえ、平成23年度予算概算要求を行った。 平成23年度予算概算要求：1,522百万円（予算額：1,522百万円）
14	若年コミュニケーション能力要支援者就職プログラムの実施事業	【引き続き推進】 評価結果を踏まえ、平成23年度予算概算要求を行った。 平成23年度予算概算要求：281百万円（予算額：281百万円）
15	「関係機関のチーム支援による福祉的就労から一般雇用への移行の促進」事業	【引き続き推進】 評価結果を踏まえ、平成23年度予算概算要求を行った。 平成23年度予算概算要求：543百万円（予算額：543百万円）
16	年長フリーター等に対する「再チャレンジコース」の開発・実施について	【廃止、休止、中止】 評価結果を踏まえ、平成23年度予算概算要求を行わなかった。
17	短時間労働者均衡待遇推進等助成金事業	【改善・見直し】 中小企業雇用安定化奨励金と整理・統合し、新たに均衡待遇・正社員化推進奨励金を創設して、平成23年度予算概算

		要求を行った。 平成23年度予算概算要求：888百万円（予算額：887百万円）
18	育児・介護雇用安定等助成金（両立支援レベルアップ助成金）	【引き続き推進】 評価結果等を踏まえ、平成23年度予算概算要求を行った。 平成23年度予算概算要求1,437百万円（予算額：1,366百万円）
19	養育費相談支援センター事業	【引き続き推進】 評価結果を踏まえ、平成23年度予算概算要求を行った。 平成23年度予算概算要求：60百万円（予算額：60百万円）
20	生活福祉資金（要保護世帯向け不動産担保型）貸付制度	【引き続き推進】 評価結果を踏まえ、平成23年度予算概算要求を行った。 平成23年度予算概算要求：20,000百万円の内数（予算額：20,000百万円の内数）
21	工賃倍増計画支援事業費補助金	【引き続き推進】 評価結果を踏まえ、平成23年度予算概算要求を行った。 平成23年度予算概算要求：598百万円（予算額：502百万円）
22	発達障害者支援開発事業	【引き続き推進】 評価結果を踏まえ、平成23年度予算概算要求を行った。 平成23年度予算概算要求：295百万円（予算額：295百万円）
23	要介護認定適正化事業	【引き続き推進】 評価結果を踏まえ、平成23年度予算概算要求を行った。 平成23年度予算概算要求：143百万円（予算額：143百万円）

表13-4-(8) 事業評価方式により事後評価した政策（成果重視事業）

No.	政策の名称	政策評価の結果の政策への反映状況
1	厚生労働省ネットワーク（共通システム）最適化事業	【引き続き推進】 評価結果を踏まえ、平成23年度予算概算要求を行った。 平成23年度予算概算要求：278百万円（予算額：278百万円）
2	社会保険業務の業務・システム最適化事業	【引き続き推進】 評価結果を踏まえ、平成23年度予算概算要求を行った。 平成23年度予算概算要求：14,134百万円（予算額：13,916百万円）
3	職業安定行政関係業務の業務・システム最適化事業	平成22年度をもって最適化計画が完了する見込みであり、成果重視事業としての平成23年度予算概算要求は行わなかった（ハローワークシステムの運用経費として所要額を要求）。
4	労災保険給付業務の業務・システム最適化事業	平成22年度をもって最適化計画が完了する見込みであり、成果重視事業としての平成23年度予算概算要求は行わなかった（労災行政情報管理システムの運用経費として所要額を要求）。
5	監督・安全衛生等業務の業務・システム最適化事業	平成22年度をもって最適化計画が完了する見込みであり、成果重視事業としての平成23年度予算概算要求は行わなかった（労働基準行政情報システムの運用経費として所要額を要求）。
6	労働保険適用徴収業務の業務・システム最適化事業	【引き続き推進】 評価結果を踏まえ、平成23年度予算概算要求を行った。 平成23年度予算概算要求：6,238百万円（予算額：6,135百万円）

表13-4-(9) 総合評価方式により事後評価した政策

No.	政策の名称	政策評価の結果の政策への反映状況
1	新型インフルエンザ対策	【改善・見直し】 政府全体として新型インフルエンザ対策行動計画の見直しを行うなど、新型インフルエンザ対策の再構築を図ることとしている。
2	「子ども・子育て応援プラン」	「子ども・子育て応援プラン」は平成17年度から平成21年度までの5年間に講ずる施策内容と数値目標を提示しており、これを見直した子ども・子育て支援の総合的な対策である「子ども・子育てビジョン」（平成22年1月29日閣議決定）が策定された。「子ども・子育てビジョン」では、子どもが主人公（チルドレンファーストと位置付け、「少子化対策」から「子ども・子育て支援」へと考え方を転換し、子どもの育ちを社会全体で支え合う環境づくりに取り組んでいくこととしている。
3	介護保険制度	【改善・見直し】 「介護保険制度の見直しに関する意見」（平成22年11月30日社会保障審議会介護保険部会）に基づき、必要な対応を検討していくこととしている。

表13-4-(10) 租税特別措置等を対象として事後評価した政策

No.	政策の名称	政策評価の結果の政策への反映状況
1	社会保険診療報酬の所得計算の特例	【引き続き推進】 評価結果を踏まえ、引き続き社会保険診療報酬の所得計算の特例措置を継続することとする。
2	保険会社等の異常危険準備金	【引き続き推進】 評価結果を踏まえ、保険会社等の異常危険準備金に係る措置を継続することとする。

表13-4-(11) 事業評価方式により事後評価した政策（公共事業の再評価）

No.	政策の名称	政策評価の結果の政策への反映状況
1	簡易水道等施設整備事業（13地区）	【引き続き推進】 13地区を継続する。
2	水道水源開発等施設整備事業（53（2）地区）	【引き続き推進】 48(1)地区を継続する。 【改善・見直し】 1地区を見直しする。 【廃止、休止、中止】 4(1)地区を中止する。

(注) 本表の地区表のうち、（ ）内は、平成21年度予算にかかる新規採択時評価の対象地区数であり、内数。

表13-4-(12) 事業評価方式により事後評価した政策（終了後の個別研究開発課題）

No.	政策の名称	政策評価の結果の政策への反映状況
1	行政政策（23課題）	計583件につき、今後同様の政策の企画立案や次期研究課

2	厚生労働科学特別研究（17 課題）	題の実施に際し反映する予定である。
3	先端的基盤開発（46 課題）	
4	臨床応用基盤（30 課題）	
5	長寿・障害総合（40課題）	
6	子ども家庭総合（5 課題）	
7	第3次対がん総合戦略（55課題）	
8	生活習慣病・難治性疾患克服総合（176 課題）	
9	感染症対策総合（40課題）	
10	こころの健康科学（20課題）	
11	地域医療基盤開発推進（40課題）	
12	労働安全衛生総合（4 課題）	
13	食品医薬品等リスク分析（68課題）	
14	健康安全・危機管理対策総合（19課題）	

(注) 個別の研究課題は、次表のとおり。

No.	研究事業名	研究課題名
1	政策科学総合研究（政策科学推進研究）	1 保育環境の質尺度の開発と保育研修利用に関する調査研究
2		2 次世代育成支援政策における産後育児支援体制の評価に関する研究
3		3 自治体・保険者の保健医療・介護福祉施策における継続的検証と計画のための統合的データ基盤構築とその活用に関する研究
4		4 医療・介護制度における適切な提供体制の構築と費用適正化に関する実証的研究
5		5 生活習慣・健診結果が生涯医療費に及ぼす影響に関する研究
6		6 「生活機能」のコード化に関する研究
7		7 医療ネグレクトにおける医療・福祉・司法が連携した対応のあり方に関する研究
8		8 保育・生活場面の展開と心身や空間把握能力の発達からみた保育施設環境の所要規模に関する研究
9		9 市場性を備えた良質な高齢者住宅の供給とケアサービスの附帯のさせ方に関する研究
10		10 医療と介護・福祉の産業連関に関する分析研究
11		11 地域の子育て支援としての一時保育事業の学習機能に関する研究－ファミリー・サポート・センター事業に着目して－
12	政策科学総合研究（統計情報総合研究）	1 死亡統計データベースの作成とその研究利用のあり方に関する研究
13		2 厚生労働統計調査の精度向上および有効利用に関する研究
14	地球規模保健課題推進研究（地球規模保険課題推進研究）	1 国際会議における効果的インターベンションのあり方に関する研究
15	地球規模保健課題推進研究（国際医学協力研究）	1 グローバル化する細菌性下痢症を征圧するための多角的な研究
16		2 抗酸菌感染症への国際的学術貢献を目指した基盤研究
17		3 ウイルス感染症の診断、疫学および予防に関する研究
18		4 寄生虫疾患の病態解明及びその予防・治療をめざした研究
19		5 肥満関連疾患のアジアと米国における遺伝疫学的検討とその対策に関する研究
20		6 環境中の疾病要因の検索とその作用機構の解明に関する研究
21		7 主にアジアに蔓延するウイルス性肝疾患の制御に資する為の日米合作的肝炎ウイルス基礎研究
22		8 H I V感染症における免疫応答の解析とその臨床応用に関する研究
23		9 急性呼吸器感染症の感染メカニズムと疫学、感染予防・制御に関する研究
24	厚生労働科学特別研究	1 終末期の生活者の生き方を支える相談・支援マニュアル策定に関する研究
25		2 ドクターヘリ、ドクターカーの実態を踏まえた搬送受入基準ガイドラ

			インに関する研究
26		3	救急患者の搬送・受入実態と救急医療体制の評価に関する研究
27		4	チーム医療における薬剤師による副作用の早期発見及び発生防止に関する調査研究
28		5	HTLV-Iの母子感染予防に関する研究
29		6	新型インフルエンザA(H1N1)への公衆衛生対応に関する評価及び提言に関する研究
30		7	小児の脳死判定及び臓器提供等に関する調査研究
31		8	特定保健指導の質の確保・維持・向上のための支援方法の類型化及び評価手法に関する研究
32		9	次期戦略研究の課題と運営に関する研究
33		10	21年度第一四半期の新型インフルエンザ対策実施を踏まえた情報提供のあり方に関する研究
34		11	新型インフルエンザ(インフルエンザA/H1N1sw1)発生への検査、調査についての準備及び初期対応の総括と、病原体検査や感染者調査に関する今後の国と地方との連携強化及び対応能力強化に関する緊急研究
35		12	新型インフルエンザ対策における検疫の効果的・効率的な実施に関する研究
36		13	医療観察法導入後における触法精神障害者への対応に関する研究
37		14	副反応モニタリング体制の検討に関する研究
38		15	新しい精神科地域医療体制とその評価のあり方に関する予備的研究
39		16	小児の喘息患児における新型インフルエンザの重症化機序分析のための全国調査及び対応ガイドラインに関する研究
40		17	国際比較を通じた医療人的資源供給体制の最適化に関する研究
41	再生医療実用化研究	1	角膜全層の再生医療技術の開発および臨床応用に関する研究
42		2	脱細胞化生体組織による再生医療技術の臨床応用
43		3	安全に移植できる細胞を誘導するためのタンパク質導入法の開発
44		4	培養細胞または幹細胞を用いた再生ヒト角膜内皮移植の実用化
45		5	心筋組織再生を物理的・機能的に促進する新規再生治療用デバイスの開発
46	創薬基盤推進研究(ヒトゲノムテラーメード研究)	1	薬物誘発性肝障害患者のゲノム解析と発症機構研究
47		2	ヒトパピローマウイルス持続感染制御に関するゲノム医学からのアプローチ
48		3	体脂肪減少因子を用いた2型糖尿病の治療
49	創薬基盤推進研究(政策創薬総合研究)	1	宿主細胞の細胞内免疫機構に基づく新規エイズ治療薬の開発
50		2	薬剤耐性HIV/AIDS症例救済のための新規な機序による抗HIV薬剤の開発研究
51		3	宿主側及びウイルス側要因からみたHIV感染症の病態解明と新規医薬品・診断薬の開発によるエイズ発症防止の研究
52		4	画期的な霊長類HIV-1モデルによる抗エイズ薬、エイズワクチン評価基盤技術の開発に関する研究
53		5	宿主ゲノム多様性を考慮したCTL誘導エイズワクチン開発戦略
54		6	HIV吸着・膜融合過程を標的とする多剤耐性克服型HIV化学療法剤の開発
55		7	ヒト免疫機構を構築した新規「ヒト化マウス」を用いたエイズワクチン・治療薬評価系の開発
56		8	政策創薬総合研究
57	創薬基盤推進研究(生物資源・創薬モデル動物研究)	1	医学研究に資するカニクイザル体細胞由来クローンES細胞の樹立に関する研究
58		2	新世界ザルを用いたデングウイルス感染・発症動物モデル開発に関する研究
59		3	血管病モデルマウスと血管新生可視化マウスの資源化
60		4	多因子疾患モデルマウスの効率的樹立法の開発

61		5	ヒトES細胞由来心筋細胞の表面マーカー探索および大量培養・純化システムの構築
62		6	ヒトES細胞および間葉系幹細胞の品質管理・医療応用に関する基盤技術開発研究
63		7	天然植物資源を元にした新規医薬リード化合物の開発に関する研究
64		8	がんの高度専門医療施設において研究用に提供される試料及び情報を統合したバイオバンク構築と、その実証的活用に基づくがんの分子解析に関する研究
65		9	ゲノム研究、プロテオーム研究に適用可能な「病理解剖組織バンク」の開発
66		10	多施設共同研究に登録された白血病の検体収集と中央保存システムの確立
67		11	薬用植物資源の安定確保と有効活用のための基盤的技術の研究
68		12	細胞研究資源の資源化ならびに品質評価法・特性解析法開発に関する研究
69		13	動物資源の安定供給に向けた繁殖および品質管理技術の高度化に関する研究
70		1	超高解像度MRI顕微鏡の開発
71		2	細胞移植医療における細胞のin vivoイメージングへ向けた新規細胞ラベル化用MRI造影剤の開発
72		3	カルシウム恒常性破綻のナノイメージングに関する研究
73		4	新規磁性薬剤化合物の画像診断への応用
74		5	ナノ分子イメージングを活用した次世代創薬アプローチ
75		6	低侵襲医療機器の実現化を目指した領域横断的な知的基盤の創出と運用に関する研究
76		7	先端技術（医・工・薬・ナノ）融合のインテリジェントナノDDS制御技術開発に基づく低侵襲血管内医療システム（分子標的医薬溶出・生体吸収性ステント etc）の創製と臨床応用
77		8	ナノバブルと超音波を用いた高周波超音波三次元画像診断・分子導入システムの開発
78	医療機器開発推進研究 （ナノメディシン研究）	9	ナノサイズリポソームを用いた急性心筋梗塞治療法の開発
79		10	超早期がんの低侵襲で効果的、正確で安全な診断・治療用微細内視鏡機器装置及びその医療技術の開発に関する研究
80		11	高磁場MRIとオールインワンナノデバイスによる癌微小病変の非侵襲的診断・治療システムの開発
81		12	胎児手術の技術的限界を克服しうる子宮内手術システムの開発：超高精度3D/4D超音波誘導下での超高感度胎児内視鏡手術
82		13	非侵襲的生体膵島イメージングによる糖尿病の超早期診断法の開発
83		14	種々のγ線放出核を用いた早期疾患診断プローブ開発とコンプトンカメラによる複数核種同時イメージング
84		15	がん微小環境制御を併用したナノドラッグによる難治性固形がん治療の実現
85		16	ナノテクノロジーを用いたDDSによる耳鳴の克服
86		17	非ステロイド性抗炎症薬（NSAIDs）を基盤分子とするアミロイドイメージングプローブの開発
87	医療技術実用化総合研究（治験推進研究）	1	治験推進研究事業
88	医療技術実用化総合研究（臨床研究基盤整備推進研究）	1	グローバル早期臨床試験推進のための大学病院ネットワーク構築の基盤整備研究
89		2	アカデミック臨床研究機関（ARO）を用いた臨床研究拠点整備のための研究
90		3	精神・神経分野における臨床研究の推進を目指した基盤整備に関する研究
91		4	日本臨床薬理学会認定制度を基本とした臨床研究体験型教育プログラム

			ラムの研究開発
92	医療技術実用化総合研究（基礎研究成果の臨床応用推進研究）	1	SPECT検査の精度向上と施設間誤差のない標準的画像診断法の確立
93		2	アンチセンス・モルフォリノによる Duchenne 型筋ジストロフィーのエクソン・スキップ治療に向けた臨床応用研究
94		3	咽頭冷却による選択的脳冷却法の臨床応用を目的とした研究
95		4	光受容体メラノプシンを制御する光フィルターを用いた早産児発達障害を予防する次世代人工保育器の開発
96		5	顆粒球コロニー刺激因子（G-CSF）による急性心筋梗塞治療の効果と安全性に関する臨床研究
97	医療技術実用化総合研究（臨床研究・予防・治療技術開発研究）	1	小児ネフローゼ症候群に対する初期治療確立を目指した多施設共同臨床研究と拡大臨床試験体制整備
98		2	シロリムスによるリンパ脈管筋腫症の第Ⅲ相国際共同臨床試験：MILES trial
99		3	筋過緊張に対する muscle afferent block 治療
100		4	下肢静脈瘤に対する血管内レーザー治療の適正出力に関して
101		5	胸部悪性腫瘍のラジオ波焼灼療法に関する研究
102		6	腎悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法
103		7	類骨骨腫に対する経皮的ラジオ波凝固療法に関する研究
104		8	悪性黒色腫におけるセンチネルリンパ節の遺伝子診断
105		9	有痛性悪性骨腫瘍に対する経皮的骨形成術についての第Ⅱ相臨床試験に関する研究
106		10	早期乳癌へのラジオ波焼灼療法の安全性および有効性の評価
107		11	転移性骨腫瘍に対する経皮的ラジオ波凝固療法に関する研究
108		12	臨床的リンパ節転移陰性胃癌に対するセンチネルリンパ節生検の安全性に関する多施設共同臨床試験
109		13	臨床的腋窩リンパ節転移陰性の原発性乳癌に対するセンチネルリンパ節生検の安全性に関する多施設共同臨床試験
110		14	高悪性度骨軟部腫瘍に対するカフェイン併用化学療法の臨床使用確認試験
111		15	腎性インスリン抵抗性症候群に基づく慢性腎臓病新規治療戦略の確立
112		16	新規診断神経膠芽腫に対する硼素中性子捕捉療法を中心とした治療プロトコール確立に関する研究
113		17	抗パーキンソン病薬（ドーパミン作動薬）のうつ病への有効性を検証するプロトコールの作成
114		18	脳梗塞急性期におけるミノサイクリンの脳保護作用についての臨床研究に対するプロトコール作成研究
115		19	難治性不随意運動症状を伴うトゥレット症候群に対する脳深部刺激の有用性に関する多施設共同研究
116		20	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌（MRSA）の外科手術術前除菌操作の是非に関する Feasibility Study
117	長寿科学総合研究	1	高齢者の切迫性尿失禁に対する膀胱壁内A型ボツリヌストキシン注入療法の多施設臨床試験と腹圧性尿失禁に対する新規治療法の開発
118		2	高齢者医療とQOL改善に対するグレリンの臨床応用とその基盤的研究
119		3	老化に伴う神経変性疾患の標準的医療確立のための長期縦断疫学研究
120		4	高齢者の生活機能低下に対する作業療法の効果に関する研究
121		5	新しいマテリアル創製を基盤とする運動器疾患治療法の開発
122		6	超音波を用いた非侵襲膝関節軟骨3次元定量診断装置の開発に関する研究
123		7	口腔内細菌叢の変化を指標にした後期高齢者の老人性肺炎の予知診

			断システムの開発
124		8	唾液を指標とした口腔機能向上プログラム作成
125		9	褥瘡の予防と治療に関する研究 1) 栄養介入の効果の検討、2) 保護機材の効果の検討
126		10	口腔ケア・マネジメントの確立
127		11	創傷皮膚科学の樹立による褥瘡の病態解明と診療体系に関する研究
128		12	在宅および施設における要介護・要支援高齢者に必要な介護サービス量を推定するモデルの開発に関する研究
129		13	食生活・栄養素摂取状況が高齢者の健康寿命に与える影響に関する研究：NIPPON DATA80・90の追跡調査
130		14	複数の訪問看護ステーションによる地域単位の24時間訪問介護・看護の効果的・効率的な実施方法の開発研究
131		15	社会経済的格差と高齢者の健康、生活習慣、医療介護資源利用に関する検討
132		16	介護保険施設におけるマネジメント理論の展開に関する実証的研究
133		17	入院医療と在宅ケアのあり方に関する調査研究
134		18	リハビリテーション患者データベース(DB)の開発
135		19	介護情報を活用した脳卒中治療連携体制が運動機能障害予防に及ぼす影響に関する大規模研究
136		20	開眼片脚起立時間による高齢者元気度区分と転倒・骨折調査、並びに片脚起立15秒以下の群に対する開眼片脚起立運動訓練による骨折予防への無作為化介入調査に関する研究
137		21	変形性関節症の病態把握と治療効果判定を可能にする定量的機能診断システムの開発
138		22	関節構成支持体(靭帯、半月板)損傷に対する細胞移植を必要としない組織再生と臨床応用の研究
139		23	血中脂質メディエーターを標的とした新規の骨粗鬆症治療薬の開発とその臨床応用
140	認知症対策総合研究	1	アルツハイマー病巣での膜結合型プロスタグランジンE合成酵素1の生物学的・臨床医学的意義の解析
141		2	霊長類胚性幹細胞をもちいた認知症、アルツハイマー病に対する新規治療法開発に関する研究
142		3	サルを用いたアルツハイマー病及び血管性認知症に対するワクチン療法の有効性、安全性の評価
143		4	認知症高齢者の自動車運転に対する社会支援のあり方に関する検討
144		5	アルツハイマー病発症と進展の客観的評価法確立のための多施設縦断臨床研究：J-ADNIコアスタディ
145		6	細胞を血行性脳実質内動員する機序の解析およびそのアルツハイマー病治療への応用
146		7	孤発性アルツハイマー病の病態機序解明を目的とする、神経系軸索輸送の加齢性変化および障害メカニズムの解明
147	子ども家庭総合研究	1	生殖補助医療の医療技術の標準化、安全性の確保と生殖補助医療により生まれた児の長期予後の検証に関する研究
148		2	法制化後の小児慢性特定疾患治療研究事業の登録・管理・評価・情報提供に関する研究
149		3	小児難治性先天異常症に対する幹細胞遺伝子細胞治療法の開発と臨床応用
150		4	全国規模の多施設共同ランダム化比較試験と背景因子分析に基づく早産予防ガイドラインの作成
151		5	タンデムマス等の新技術を導入した新しい新生児マススクリーニング体制の確立に関する研究
152	第3次対がん総合戦略研究	1	ヒト多段階発がん過程におけるエピジェネティックな異常の網羅的解明と臨床応用に関する研究

153		2	疾患モデル動物を用いた環境発がんの初期発生過程及び感受性要因の解明とその臨床応用に関する研究
154		3	放射線障害に基づく固形がん発生の分子機構の解明とその予防・治療への応用に関する研究
155		4	ヒト腫瘍の発生・発育・進展に関わる分子病態の解析とその臨床応用
156		5	ゲノム・遺伝子解析情報に基づく診断・予防法開発及び分子標的探索と、免疫遺伝子治療の臨床開発に関する研究
157		6	ヒトがんで高頻度に変異・発現亢進・活性化している遺伝子を標的とした新たな治療法の開発に関する研究
158		7	難治性小児がんの臨床的特性に関する分子情報の体系的解析と、その知見に基づく診断治療法の開発に関する研究
159		8	血管新生とリンパ管新生の同時制御による制癌法の確立
160		9	がん化学予防剤の開発に関する基礎及び臨床研究
161		10	ウイルスを標的とする発がん予防の研究
162		11	効果的な禁煙支援法の開発と普及のための制度化に関する研究
163		12	遺伝子不安定性の機能解析及び遺伝子変異推測モデルの構築による乳癌卵巣癌ハイリスクキャリアーの同定と発症予防法の確立
164		13	診断用機器および診断方法の開発に基づいたがん診断能向上に関する研究
165		14	革新的な診断技術を用いたこれからの肺がん検診手法の確立に関する研究
166		15	新たな胃がん検診システムに必要な検診方法の開発とその有効性評価に関する研究
167		16	DNAチップによる急性白血病の新規分類法提案
168		17	癌の新しい診断技術の開発と治療効果予測の研究
169		18	がん治療のための革新的新技術の開発に関する総合的な研究
170		19	新しい薬物療法の導入とその最適化に関する研究
171		20	新戦略に基づく抗がん剤の開発に関する研究
172		21	特異的細胞性免疫の活性化による新規がん治療の開発研究
173		22	放射線感受性ナノバイオ・ウイルス製剤の開発と難治性固形癌に対する臨床応用の検討
174		23	増殖型ベクターと幹細胞のオリジナル技術による革新的な癌遺伝子治療法の開発
175		24	QOLの向上をめざしたがん治療法の開発研究
176		25	QOLの向上のための各種患者支援プログラムの開発に関する研究
177		26	患者・家族・国民の視点に立った適切ながん情報提供サービスのあり方に関する研究
178		27	院内がん登録の標準化と普及に関する研究
179		28	その他、がんの実態把握とがん情報の発信等に関する特に重要な研究
180		29	がんの診療科データベースと Japanese National Cancer Database (JNCDB) の構築と運用
181	がん臨床研究	1	がん医療の均てん化に資するがん医療に携わる専門的な知識および技能を有する医療従事者の育成に関する研究
182		2	がん医療の均てん化に資する緩和医療に携わる医療従事者の育成に関する研究
183		3	がん医療の均てん化に資するがん診療連携拠点病院の機能強化に関する研究
184		4	がん患者に対するリエゾンの介入や認知行動療法的アプローチ等の精神医学的な介入の有用性に関する研究
185		5	がん患者や家族が必要とする社会的サポートやグループカウンセリングの有用性に関する研究
186		6	タイムスタディ等の定量的な検討を踏まえたがん医療における専門スタッフの効果的な配置や支援のあり方に関する研究
187		7	たばこ対策による健康増進策の総合的な実施の支援かつ推進に関する

			る研究
188		8	がん医療における医療と介護の連携のあり方に関する研究
189		9	小児がん治療患者の長期フォローアップとその体制整備に関する研究
190		10	成人T細胞白血病（ATL）に対する同種幹細胞移植療法の開発とそのHTLV-1排除機構の解明に関する研究
191		11	切除可能膵胆道領域がんに対する補助療法の研究
192		12	進行胃がんの生存率を向上させる標準的治療法の開発に関する研究
193		13	胃上部癌手術における脾合併切除の意義に関する研究
194		14	限局型小細胞肺癌に対する新たな標準的治療の確立に関する研究
195		15	生存率とQOLの向上を目指したがん切除後の形成再建手技の標準化
196		16	治療関連合併症を減少させて同種造血幹細胞移植後の生存率の向上を目指す標準的治療法の開発研究
197		17	悪性リンパ腫に対する免疫化学療法最適化による新たな標準的治療の確立
198		18	切除不能胆道がんに対する治療法の確立に関する研究
199		19	NK細胞腫瘍に対する東アジア多国間治療研究
200		20	大腸がん肝転移症例の術後補助化学療法に関する研究
201		21	再発小児固形腫瘍に対する塩酸ノギテカンとイホスファミド併用療法の第Ⅰ／Ⅱ相臨床試験
202		22	再発等の難治性造血器腫瘍に対する同種造血幹細胞移植を用いた効果的治療法確立に関する研究
203		23	進行期難治性B細胞リンパ腫に対する大量化学療法を併用した効果的治療に関する臨床研究
204		24	進行卵巣がんにおける化学療法先行治療の確立に関する研究
205		25	神経芽腫におけるリスク分類にもとづく標準的治療の確立と均てん化および新規診断・治療法の開発研究
206		26	がん患者の意向による治療方法等の選択を可能とする支援体制整備を目的とした、がん体験をめぐる「患者の語り」のデータベース
207	循環器疾患等生活習慣病対策総合研究	1	健康づくりのための運動基準・エクササイズガイド改定に関する研究
208		2	「日本人の食事摂取基準」策定のための文献学的研究
209		3	日本人の食事摂取基準の活用方法に関する検討
210		4	日本人の食事摂取基準を改定するためのエビデンスの構築に関する研究－微量栄養素と多量栄養素摂取量のバランスの解明－
211		5	保健・医療サービス等における栄養ケアの基盤的研究
212		6	未成年の喫煙・飲酒状況に関する実態調査研究
213		7	わが国における飲酒の実態ならびに飲酒に関連する生活習慣病、公衆衛生上の諸問題とその対策に関する総合的研究
214		8	虚血性心疾患に対する外来型心臓リハビリテーションの有効性のエビデンスの確立と普及方策の検討に関する多施設研究
215		9	ヒスタミンと心不全の関連についての検討－H2レセプターブロッカーは心不全を改善するか
216		10	長期遠隔成績からみた糖尿病患者に対する至適冠血行再建法に関する研究
217		11	動脈硬化性疾患の発症予知・進展予防に関する研究
218		12	日本人における動脈硬化性大動脈弁膜疾患の発症・進展予防に関する研究
219		13	「多目的コホート（JPHCコホート）」における糖尿病・メタボリックシンドロームの発症要因と実態分析に関する研究
220		14	多施設コホートを基盤とした糖尿病・メタボリックシンドロームの発症要因と脳卒中・心筋梗塞の発症に果たす役割に関する前向き研究
221		15	わが国の女性における生活習慣病の実態把握と発症要因の探索及び介入に関する研究

222		16	地域・職域における生活習慣病予防活動・疾病管理による医療費適正化効果に関する研究
223		17	保健指導への活用を前提としたメタボリックシンドロームの診断・管理のエビデンス創出のための横断・縦断研究
224		18	2型糖尿病患者のQOL、血管合併症及び長期予後改善のための前向き研究
225		19	行動変容を促す情報提供ツールの開発とメタボリックシンドローム予防効果に関する研究
226		20	特定保健指導のアウトソーシング先に対する「保健指導の質の評価ガイド」を利用した質の管理・促進に関する研究
227		21	健診の精度管理の在り方に関する研究
228		22	心肺停止患者に対する心肺補助装置等を用いた高度救命処置の効果と費用に関する多施設共同研究
229		23	超急性期脳梗塞患者の救急搬送及び急性期病院受け入れ体制に関する実態調査研究
230		24	急性心筋梗塞症と脳卒中に対する超急性期診療体制の構築に関する研究
231		25	口腔保健と全身のQOLの関係に関する総合研究
232		26	食育を通じた健康づくり及び生活習慣病予防戦略に関する研究
233	糖尿病戦略等研究	1	糖尿病診療均てん化のための標準的診療マニュアル作成とその有効性の検証ーガイドラインを実用化するためのシステム・体制整備の視点から
234		2	糖尿病予防のための戦略研究
235	障害保健福祉総合研究	1	障害者ケアマネジメントのモニタリングおよびプログラム評価の方法論に関する研究
236		2	身体障害者福祉法における今後の障害認定のありかたに関する研究
237		3	精神障害者の地域ケアの促進に関する研究
238		4	青年期発達障害の円滑な地域移行への支援についての研究
239		5	ライフステージに応じた広汎性発達障害者に対する支援のあり方に関する研究 支援の有効性と適応の評価および臨床家のためのガイドライン作成
240		6	経済学的手法による補装具の価格構成に関する研究
241		7	精神障害者の生活機能と社会参加の促進に関する研究
242	感覚器障害研究	1	ナノテクノロジー、再生医学を融合した人工内耳。人工蝸牛の開発
243		2	黄斑部疾患診断のための客観的網膜機能評価法の確立
244		3	中・高齢層中途視覚障害者の自立・学習・就労を支援する文字入力システムの開発と有効性の実証に関する研究
245	新型インフルエンザ等新興・再興感染症研究	1	医療機関における感染症伝播に関する研究
246		2	新規に発生しているレンサ球菌による劇症型感染症の臨床的・細菌学的解析と、診断・治療法に関する研究
247		3	防疫上緊急を要するウイルス性出血熱等に対する病原体診断法の確立及び予防・治療法の開発に関する研究
248		4	感染症への国民啓発に効果的なリスクコミュニケーション方法と教育方法に関する研究
249		5	インフルエンザ（H5N1）の死因となる劇症型ARDSの病態解析と治療法の開発に関する研究
250		6	抗酸菌感染症の発症・診断・治療・新世代予防技術に係わる分子機構に関する研究
251		7	慢性寄生虫感染症の侵入監視及びその健康管理体制の確立
252		8	深在性真菌症と輸入真菌症に関する新しい検査法と抗真菌薬の開発、並びに病原因子の解明に向けたポストゲノムの基盤的研究
253		9	動物由来感染症の生態学的アプローチによるリスク評価等に関する研究
254		10	遺伝子増幅RPA法に基づいた媒介蚊における迅速簡便病原体検出

			法の開発
255		11	国内で発生のないベクター媒介性感染症の疫学診断法等の研究
256		12	ウイルス感染症の効果的制御のための病原体サーベイランスシステムの検討
257		13	中空粒子を用いたウイルス性肝炎の新しい検査・予防法の開発
258		14	経鼻粘膜投与型インフルエンザワクチンの臨床効用に関する研究
259	エイズ対策研究	1	薬剤耐性H I Vの発生機序とその制御方法に関する研究
260		2	H A A R Tの長期的副作用対策・長期予後に関する研究
261		3	H A A R T時代の長期予後を脅かす治療抵抗性エイズリンパ腫に対する多面的治療戦略開発に関する研究
262		4	A Z T誘発ミトコンドリア機能障害に対する分子治療方法の開発
263		5	個別施策層に対するH I V感染予防対策とその介入効果の評価に関する研究
264		6	薬剤耐性H I Vの動向把握のための調査体制確立及びその対策に関する研究
265		7	先進諸国を中心とした海外におけるエイズ発生動向、調査体制、対策の分析
266		8	中核拠点病院において行われるカウンセリングの質を向上させる研究
267		9	UNGASS R E P O R T等の報告書作成に必要な情報を収集・分析する研究
268		10	H I V感染症の医療体制の整備に関する研究
269		11	H I Vに対する粘膜ワクチンの最適化に適う安全性・有効性に優れた粘膜ワクチンアジュバントの開発
270		12	抗ウイルス作用をもつ宿主防御因子A P O B E C 3 GとH I V - 1 V i fとの結合領域および特性の解明と、その阻害化合物の検索
271		13	多剤耐性H I Vにおける将来的な変異・構造予測と新規抗H I V薬開発
272		14	H I V - 1感染のヒト-ラット種間バリアーの解明
273	肝炎等克服緊急対策研究	1	肝炎ウイルスにより惹起される炎症性誘発要因及びウイルス増殖に対する人為的制御による肝炎征圧
274		2	薬剤耐性肝炎ウイルス感染の病態解明と対策に関する研究
275		3	ウイルス肝炎感染防止体制の確立に関する総合研究
276		4	肝炎ウイルスの培養系を用いた新規肝炎治療法の開発
277		5	肝炎ウイルス感染防御を目指したワクチン接種の基盤構築
278		6	B型及びC型肝炎ウイルスの感染による肝がん発症の病態解明とその予防・治療法の開発に関する研究
279		7	ウイルス肝炎による肝がんの再発防止メカニズムの解明に関する研究
280		8	肝炎状況・長期予後の疫学に関する研究
281		9	ジェノミクス技術を用いたウイルス性肝炎に対する新規診断・治療法の開発
282		10	H C V感染における宿主応答の分子機構の解析と新規創薬標的の探索
283		11	肝硬変を含めたウイルス性肝疾患の治療の標準化に関する研究
284		12	テーラーメイド治療を目指した肝炎ウイルスデータベース構築に関する研究
285	免疫アレルギー疾患等 予防・治療研究	1	気管支喘息の有症率、ガイドラインの普及効果とQ O Lに関する全年齢全国調査に関する研究
286		2	バリア機能障害によるアトピー性疾患病態解明に関する研究
287		3	関節リウマチの早期診断による発症及び重症化予防
288		4	アレルギーのテーラーメイド治療管理ガイドラインの確立と実用化
289		5	関節リウマチ上肢人工関節開発に関する研究
290		6	膠原病の生命予後規定因子である肺合併症の診断及び治療法の再評

			価と新規開発に関する研究
291		7	代替医療の実態と有効性の科学的評価
292		8	アレムツズマブを用いたHLA不一致同種造血幹細胞移植療法の医師主導治験および造血幹細胞移植領域における医師主導治験発展のための研究
293		9	新しい造血幹細胞移植技術の開発に関する研究
294	こころの健康科学研究	1	精神疾患脆弱性遺伝子と中間表現型に基づく新しい診断法・治療法の開発に関する研究
295		2	精神科領域における臨床研究推進のための基盤作りに関する研究
296		3	分子イメージングによる精神科治療法の科学的評価法の確立に関する研究
297		4	精神療法の実施方法と有効性に関する研究
298		5	発達障害者の新しい診断・治療法の開発に関する研究
299		6	心理学的剖検データベースを活用した自殺の原因分析に関する研究
300		7	精神医療の質的実態把握と最適化に関する総合研究
301		8	精神科救急医療、特に身体疾患や認知症疾患合併症例の対応に関する研究
302		9	思春期のひきこもりをもたらす精神科疾患の実態把握と精神医学的治療・援助システムの構築に関する研究
303		10	精神疾患に合併する睡眠障害の診断・治療の実態把握と睡眠医療の適正化に関する研究
304		11	急激に社会問題化している心身症の克服モデル
305		12	夜型社会における子どもの睡眠リズムによる心身発達の前方視的研究と介入法に関する研究
306		13	神経・筋変性疾患における細胞移植システムの構築と自己細胞移植治療法の開発
307		14	重症筋無力症の病態解明と診断法および治療法の開発
308		15	新規リードスルー惹起物質によるナンセンス変異型筋疾患治療のための前臨床試験
309		16	脳脊髄液減少症の診断・治療の確立に関する研究
310		17	縁取り空胞を伴う遠位型ミオパチーの根本的治療法開発
311		18	プリオン病における免疫反応の解明とそれに基づく診断・治療法の開発
312		19	候補遺伝子DISC1の機能解析による統合失調症の病態理解と治療戦略の構築
313		20	地域における一般診療科と精神科の連携によるうつ病患者／自殺ハイリスク者の発見と支援
314	難治性疾患克服研究	1	難治性炎症性腸管障害に関する調査研究
315		2	ライゾゾーム病（ファブリ病含む）に関する調査研究
316		3	重症多形滲出性紅斑に関する調査研究
317		4	HLA多型が寄与する自己免疫疾患の発症機序の解明
318		5	プリオン病に対する診断・治療技術開発に関する研究
319		6	難治性血管炎に対する血管再生療法の多施設共同研究
320		7	骨髄異形成症候群に対する病態解明・治療法の開発に関する研究
321		8	プリオン病2次感染に対する現実的滅菌法の開発研究
322		9	先天性難治性網膜・視神経障害に対する生体試料の収集及び病態把握に資する遺伝子バンクの創生
323		10	先天白内障の原因究明と診断治療基準の創生
324		11	胎児・新生児障害の原因となる自己抗体陽性女性の妊娠管理指針の作成
325		12	有機酸代謝異常症（メチルマロン酸血症・プロピオン酸血症）、尿素サイクル異常症（CPS1、OTC欠損症）、肝型糖原病の新規治療

		法の確立と標準化
326	13	ファンconi貧血とその類縁疾患の生体試料収集に関する研究
327	14	特発性間質性肺炎患者における生体試料等の収集に関する研究
328	15	偽性低アルドステロン症に関連する生体試料等の収集に関する研究
329	16	大脳皮質基底核変性症由来 iPS 細胞の樹立とタウオパチーの新規治療戦略の確立
330	17	全身性エリテマトーデスにおける修飾自己抗原を用いた自己反応性 B 細胞を標的とする病勢モニタリングと特異的細胞機能抑制治療の開発
331	18	進行性骨化性線維異形成症 (FOP) の生体試料の集積と新規治療法の開発に関する基盤研究
332	19	特発性造血障害患者生体試料の安定的収集法の確立による鉄代謝異常関連造血障害の解析
333	20	加齢黄斑変性症、ポリープ状脈絡膜血管症の生体試料バンク及び情報データベースの構築
334	21	原発性免疫不全症候群患者からの生体試料収集に関する研究
335	22	ADH 分泌異常症 (尿崩症) を呈するリンパ球性漏斗下垂体後葉炎の診断マーカーの開発に向けた患者検体の収集
336	23	脳アミロイドアングリオパチーの生体試料収集に関する研究
337	24	患者由来細胞の iPS 細胞化による心筋症の新しい診断法開発を目指した生体試料の収集
338	25	重症筋無力症の前向き臨床研究と生体試料バンクの構築
339	26	稀少難治性皮膚疾患克服のための生体試料の収集に関する研究
340	27	膠原病、自己免疫疾患の重複症候群を中心とした実態把握と解析に向けた試料収集
341	28	AML 1 および 7 q 欠失責任遺伝子変異情報を有する骨髄異形成症候群検体バンクの構築
342	29	家族性突然死症候群の遺伝的背景の解明
343	30	抗好中球細胞質抗体関連血管炎患者の genomic DNA 収集に関する研究
344	31	小児期発症の脊髄性筋萎縮症の生体試料収集に関する研究
345	32	肺胞低換気症候群の病態の研究
346	33	線条体黒質変性症を主体とするパーキンソン症候群のバイオリソースバンク構築に関する研究
347	34	難治性肝臓疾患 (原発性胆汁性肝硬変) の生体試料等の収集に関する研究
348	35	重症多形滲出性紅斑の生体試料収集・保管管理システムの確立
349	36	特定難治性疾患患者の回腸・大腸生検組織バンク構築
350	37	重症特発性心筋症患者の生体資料の収集および新規予後規定因子の検索・解析
351	38	難治性内耳疾患の遺伝子バンク構築
352	39	ウイルス動脈輪閉塞症における生体試料の収集に関する研究
353	40	低身長症における CNP 有効症例の把握と診断法の確立
354	41	特発性耳石器障害によるめまいの診断基準および治療ガイドラインの作成
355	42	慢性活動性 EB ウイルス感染症の実態解明と診断法確立に関する研究
356	43	ロイス・ディーツ症候群の診断基準作成に向けた臨床所見の収集と治療成績の検討
357	44	高チロシン血症を示す新生児における最終診断への診断プロトコールと治療指針の作成に関する研究
358	45	新生児食物蛋白誘発胃腸炎 (N-FPIES) の疾患概念確立、実態把握、診断治療指針作成に関する研究
359	46	急性大動脈症候群に対する予防治療の指針作成に向けた基礎研究

360	47	顔面形態異常を伴う先天性奇形症候群（スミスマゲニス症候群を含む）の3次元デジタル画像解析の復元データに基づく診断基準の作成と患者数の把握に関する研究
361	48	鰓弓耳腎（BOR）症候群の発症頻度調査と遺伝子診断法の確立に関する研究
362	49	Rubinstein-Taybi 症候群の臨床診断基準の策定と新基準にもとづく有病率の調査研究
363	50	毛細血管拡張性小脳失調症の実態調査、早期診断法確立と、病態評価に関する研究
364	51	CHARGE 症候群の臨床診断基準の改訂と新基準にもとづく有病率調査およびDNAバンク・iPS 細胞の確立
365	52	遺伝性出血性末梢血管拡張症（オスラー病）に関する遺伝疫学的検討と診療ガイドラインの作成
366	53	Wolfram 症候群の実態把握および診断法確立のための調査研究
367	54	脊髄障害性疼痛症候群の実態の把握と病態の解明に関する研究
368	55	レット症候群の診断と予防・治療法確立のための臨床および生物科学の集学的研究
369	56	年齢依存性てんかん性脳症の分子疫学と臨床像の解明
370	57	新規疾患, IgG4 関連多臓器リンパ増殖性疾患（IgG4+MOLPS）の確立のための研究
371	58	成人型分類不能型免疫不全症の実態把握、亜群特定に基づく診断基準策定及び病態解明に関する研究
372	59	難治性慢性痒疹・皮膚そう痒症の病態解析及び診断基準・治療指針の確立
373	60	ゲノム刷り込み疾患 Beckwith-Wiedemann 症候群の全国調査と遺伝子解析に基づく診断基準の作成
374	61	発作性運動誘発性舞蹈アトーゼ（PKC）の有効治療薬開発のための分子メカニズムの解明
375	62	乳児ランゲルハンス細胞組織球症の病態解明と診療研究
376	63	非もやもや病小児閉塞性脳血管障害の実態把握と治療指針に関する研究
377	64	AAA 症候群の実態把握のための奨励研究
378	65	アンジェルマン症候群の病態と教育的対応の連携に関する研究
379	66	中條-西村症候群の疾患概念の確立と病態解明へのアプローチ
380	67	遺伝性ポルフィリン症の全国疫学調査ならびに診断・治療法の開発に関する研究
381	68	先天性両側小耳症・外耳道閉鎖疾患に対する、良い耳介形成・外耳道・鼓膜・鼓室形成術の開発と両耳聴実現のためのチーム医療
382	69	高プロリン血症の臨床的多様性の解明と新しい診断基準及び長期フォローアップ体制の確立
383	70	新生児および乳幼児肝血管腫に対する新規治療の実態把握ならびに治療ガイドライン作成に関する研究
384	71	カナバン病の実態把握とケア指針作成のための研究
385	72	本邦における筋チャンネル病の実態に関する研究
386	73	原因不明の慢性好酸球性肺炎の病態解明、新規治療法、およびガイドライン作成に関する研究
387	74	ゲノム異常症として歌舞伎症候群原因遺伝子同定と遺伝子に基づく成長障害治療可能性の研究開発
388	75	細網異形成症の診断と治療に関する調査研究
389	76	ゲノムインプリンティング異常症5疾患の実態把握に関する全国多施設共同研究
390	77	牟婁病の実態の把握と治療指針作成
391	78	遺伝性脳小血管病の病態機序の解明と治療法の開発
392	79	肥大型皮膚骨膜炎における遺伝形式を踏まえた新しい病型分類の提

			言と既存治療法の再評価
393	80		先天性角膜混濁の実態把握と診断法確立のための研究
394	81		I g G 4 関連全身疾患の病態解明と疾患概念確立のための臨床研究
395	82		先天性無痛症の実態把握および治療・ケア指針作成のための研究
396	83		再発性多発軟骨炎の診断と治療体系の確立
397	84		14 番染色体父性片親性ダイソミー関連疾患の実態把握と診断・治療指針作成
398	85		声帯溝症の診断治療の確立と、標準化に向けたガイドラインの作成
399	86		チトクローム P 450 オキシドレクターゼ異常症の実態把握と治療指針作成
400	87		Prader-Willi 症候群の実態把握と治療指針の作成
401	88		高グリシン血症の患者数把握と治療法開発に関する研究
402	89		脊柱変形由来の胸郭不全症候群の実態調査とその診断・治療方針の検討
403	90		難治性血管腫・血管奇形についての調査研究
404	91		フォン・ヒッペルリンドウ病の病態調査と診断治療系確立の研究
405	92		Calciophylaxis の診断・治療に関わる調査・研究
406	93		日本人における新生児糖尿病発症原因遺伝子異常の実態把握および遺伝子変異部位による薬効変化に関する検討
407	94		低フォスファターゼ症の個別最適治療に向けた基礎的・臨床的検討
408	95		シャルコー・マリー・トゥース病の診断・治療・ケアに関する研究
409	96		乳幼児破局てんかんの実態と診療指針に関する研究
410	97		リポジストロフィーとミオパチーを合併する新規遺伝性疾患についての疾患概念の確立と治療法の開発に向けた研究
411	98		両側性蝸牛神経形成不全症の治療指針の確立
412	99		わが国初の周産期心筋症の全国後方視的・前方視的症例調査に関する研究
413	100		高 I g D 症候群に対する細胞分子生物学的手法を駆使した診療基盤技術の開発
414	101		Cryopyrin-associated periodic syndrome (CAPS) に対する細胞分子生物学的手法を用いた診療基盤技術の開発
415	102		コレステリルエステル転送蛋白欠損症の病態把握のための疫学研究
416	103		Alagille 症候群など遺伝性胆汁うっ滞性疾患の診断ガイドライン作成、実態調査並びに生体資料のバンク化
417	104		自己貧食空胞性ミオパチーの疾患概念確立と診断基準作成のための研究
418	105		先天性赤芽球癆 (Diamond Blackfan 貧血) の効果的診断法の確立に関する研究
419	106		わが国における X連鎖 α サラセミア・精神遅滞 (ATR-X) 症候群の診断基準・診療指針の作成および医療・患者間の情報ネットワークの確立
420	107		若年性特発性関節炎の遺伝的要因の実態
421	108		Congenital dyserythropoietic anemia (CDA) の効果的診断法の確立に関する研究
422	109		ゲノムコピー数異常を伴う先天奇形症候群 (ウォルフヒルシュホーン症候群を含む) の診断法の確立と患者数に関する研究
423	110		小眼球による視覚障害の原因を特定するための疫学調査と診断・治療基準の創成
424	111		白斑の診断基準及び治療指針の確立
425	112		Mowat-Wilson 症候群の臨床診断基準の確立と疾患発症頻度の調査
426	113		先天性ビオチン代謝異常症における分子遺伝学的方法による病態解析および迅速診断法の開発
427	114		軟骨無形症の臨床診断基準の作成
428	115		四肢短縮型小人症の新規遺伝子診断基準作成研究

429		116	Penderd 症候群の早期診断に基づく予防と治療のガイドライン作成
430		117	慢性特発性偽性腸閉塞症（C I I P）のわが国における疫学・診断・治療の実態調査
431		118	先天性高インスリン血症の実態把握と治療適正化に関する研究
432		119	腎性尿崩症の実態把握と診断・治療指針作成
433		120	日本人長鎖脂肪酸代謝異常症の患者数把握と、治療指針作成および長期フォローアップ体制確立のための研究
434		121	シトリン欠損症の自然歴にもとづく実態解明と治療指針の作成
435		122	N E M O 異常症等難治性炎症性腸疾患の実態調査と治療ガイドライン作成
436		123	成人における慢性好中球減少症（周期性好中球減少症、慢性本態性好中球減少症、自己免疫性好中球減少症など）に関する調査研究
437		124	非致死性骨形成不全症の実態把握と治療指針作成
438		125	甲状腺クリーゼの全国疫学調査に基づいた診断基準（第1版）の検証と改訂、発症実態の解明、治療指針の作成
439		126	好酸球性食道炎／好酸球性胃腸炎の疾患概念確立と治療指針作成のための臨床研究
440		127	那須ハコラ病の臨床病理遺伝学的研究
441		128	高V E G F 血症を特徴とするR S 3 P E R 症候群関連新疾患概念の確立と普及
442		129	円錐角膜の疫学と治療実態に関する研究
443		130	遺伝性鉄芽球性貧血の診断分類と治療法の確立
444		131	ビオプテリン代謝異常を伴う難病の実体および病態把握のための横断的研究
445		132	血管新生黄斑症に対するペプチドワクチン療法
446		133	慢性動脈周囲炎の予測と実態把握にむけた研究
447		134	わが国におけるサラセミアの実態把握と無侵襲胎児遺伝子診断法および治療基準作成の試み
448		135	胎児仙尾部奇形腫の実態把握・治療指針作成に関する研究
449		136	難治性発作性気道閉塞障害の病態把握に関する研究
450		137	自己免疫性内耳障害の実態把握のための多施設研究
451		138	優性遺伝形式をとる遺伝性難聴に関する調査研究
452		139	エマヌエル症候群の疾患頻度とその自然歴の実態調査
453	地域医療基盤開発推進研究	1	医療安全に係るコミュニケーションスキルに関する研究－患者ハラスメントに焦点をあてて－
454		2	質効率向上と職業間連携を目指した病棟マネジメントの研究
455		3	地域・市民の視点からみた医療の質・安全・機能の充実度と必要資源の評価・向上に関する研究開発
456		4	歯科医療における院内感染対策の評価指標の開発と有効性の検証
457		5	進行頭頸部癌に対する漢方治療の有用性評価
458		6	日本版E H R（生涯健康医療電子記録）の実現に向けた研究
459		7	エビデンスに基づく初期診療ガイドラインの作成に関する研究
460		8	診療ガイドラインの新たな可能性と課題：患者・一般国民との情報共有と医療者の生涯学習
461		9	高齢者の在宅終末期ケアの標準化及び指針策定に向けた基礎的研究
462		10	医療の発展と患者の保護をめぐる倫理・法の現代的課題に関する研究
463		11	診療行為に関連した死亡の届出様式及び医療事故の情報処理システムの開発に関する研究
464		12	「診療行為に関連した死亡の調査分析」における解剖を補助する死因究明手法（死後画像）の検証に関する研究
465		13	診療行為に関連した死亡の調査分析に従事する者の育成及び資質向上のための手法に関する研究
466		14	救急医療体制の推進に関する研究
467		15	現状に即したへき地等の保健医療を構築する方策および評価指標に

			関する研究
468		16	医学部教育、臨床研修制度、専門研修を縦断するカリキュラムの作成と医師養成の在り方に関する研究
469		17	医師のキャリアパスを踏まえた地域偏在等の動態分析および医師需給の適正化に関する研究
470		18	歯科分野における診療ガイドラインの評価とその普及に関する研究
471		19	歯科補綴物の多国間流通に関する調査研究
472		20	歯科関連職種における技術能力向上に寄与する試験のあり方の研究
473		21	未就業歯科衛生士の現状の把握とその活用に関する研究
474		22	医療依存度の高い在宅療養者に対する医療的ケアの実態調査および安全性確保に向けた支援関係職種間の効果的な連携の推進に関する検討
475		23	皮膚・排泄ケア認定看護師による高度創傷管理技術を用いた重症褥瘡発生の防止に関する研究
476		24	実践能力向上に資する看護師国家試験等の改善に関する研究
477		25	抑肝散の示す精神疾患周辺行動改善に対する科学的検証
478		26	根拠に基づく更年期障害治療推進のための洋漢統合医学的エビデンスの構築
479		27	患者の視点を重視した診療ガイドラインの評価体系の確立及び普及促進に関する研究
480		28	慢性疾患のガイドライン診療普及法の開発・実証研究
481		29	電子私書箱と連携した保健医療情報の安全な利活用を促進する医療情報ネットワーク基盤整備の技術的方策に関する研究
482		30	地域を支える医療機器の適正使用の確保に関する研究
483		31	在宅医療への遠隔医療実用実施手順の策定
484		32	電子化された医薬品添付情報の利活用に関する研究
485		33	医療の質向上に資するアウトカム評価に資する研究
486		34	地域密着型医療における有床診療所の役割に関する研究
487		35	医療計画を踏まえ医療の連携体制構築に関する評価とその評価方法の開発に関する研究
488		36	医師と医療関係職種等との連携や勤務形態のあり方に関する研究
489		37	医師の初期臨床研修到達目標達成度評価に関する研究
490		38	サージカルトレーニングのあり方に関する研究
491		39	地域の実状に応じた看護提供体制に関する研究
492		40	遠隔医療の概念整理と遠隔連携に関する研究
493		1	隧道等建設工事の現行測定法の検証とアーク溶接等への新測定法の提案に関する研究
494	労働安全衛生総合研究	2	じん肺健康診断におけるエックス線デジタル撮影画像の活用に関する研究
495		3	基礎工食用大型建設機械の転倒防止に関する研究
496		4	暑熱作業時の必要水分補給量に関する研究
497		1	食品衛生関連情報の効率的な活用に関する研究
498		2	ダイオキシン類等の有害化学物質による食品汚染実態の把握に関する研究
499		3	食品中の有害物質等の摂取量の調査及び評価に関する研究
500	食品の安心・安全確保推進研究	4	非食用バイオテクノロジー応用生物の食品への混入危害防止に関する安全性確保のための研究
501		5	健康食品における安全性確保を目的とした基準等作成のための行政的研究
502		6	特定保健用食品等の有効性・安全性を確保するための科学的根拠の評価方法に関する研究
503		7	国際的動向を踏まえた食品添加物の規格、基準の向上に関する調査研究
504		8	重金属等を含む食品の安全性に関する研究

505		9	カビ毒を含む食品の安全性に関する研究
506		10	動物用医薬品等に関する畜水産食品の安全性確保に係る研究
507		11	食品中残留農薬等の汚染実態把握と急性暴露評価に関する研究
508		12	冷凍食品の安全性確保に関する研究
509		13	食品製造における食中毒菌汚染防止のための高度衛生管理に関する研究
510		14	細菌性食中毒の防止対策に関する研究
511		15	食品中のウイルスの制御に関する研究
512		16	母乳のダイオキシン類汚染の実態調査と乳幼児の発達への影響に関する研究
513		17	食品用器具・容器包装、乳幼児用玩具及び洗剤の安全性確保に関する研究
514		18	食品中の複数の化学物質による健康影響に関する調査研究
515		19	自然毒のリスクプロファイル作成を目指した調査研究
516		20	抗原応答ゲート膜を用いた超高速イムノクロマト法の開発
517		21	ウェルシュ菌芽胞形成調節ネットワークの解析と、調節遺伝子をターゲットとした食中毒予防法の開発
518		22	「栄養表示基準における栄養成分の分析方法」の測定精度向上のための研究
519		23	既存添加物・褐色系フラボノイド色素群の化学構造の解明
520		24	母乳を介したフタル酸ジエー（2-エチルヘキシル）による乳幼児の発達毒性と成熟後の脂質量への影響
521	医薬品・医療機器等レギュラトリーサイエンス総合研究	1	国際的整合性を目指す有効性及び安全性に於ける遺伝子発現情報の標準化に関する研究
522		2	国際的整合性を目指す医薬品等の品質、有効性及び安全性に関する研究
523		3	動物実験代替法を用いた安全性評価体制の確立と国際協調に関する研究
524		4	医薬品を巡る環境の変化に対応した日本薬局方の改正のための研究
525		5	小児科領域での投薬に適した医薬品剤形のあり方と、剤形変更した医薬品の安全性・有効性の確保に関する研究
526		6	小児等の特殊患者に対する医薬品の製剤改良その他有効性及び安全性の確保のあり方に関する研究
527		7	タンパク質及び核酸含有製剤の高感度安定性評価法の確立に関する研究
528		8	質量分析、分子イメージング、リンパ組織構築等を有効活用した機能性人工タンパク質製剤の高感度な安定性評価法、抗原性試験法の確立
529		9	遺伝子組換え医薬品等のプリオン安全性確保のための検出手法の標準化及びプリオン除去工程評価への適用に関する研究
530		10	ワクチン開発における臨床評価ガイドライン等の作成に関する研究
531		11	ウイルス感染症の体外診断薬の再評価に関する基盤整備に関する研究
532		12	医療機器の国際的な動向を踏まえた品質、有効性及び安全性の評価に関する研究
533		13	医療機器・医用材料のリスクアセスメント手法開発に関する研究
534		14	製造販売規制を効率的に行うための医療機器の体系的な分類の推進に関する研究
535		15	医療機器の販売等に係わる効果的なリスクマネジメント手法に関する研究
536		16	一般用医薬品の販売にあたっての情報提供のあり方に関する研究
537		17	乱用薬物による神経毒性・依存症に対する診断・予防及び治療法に関する研究
538		18	乱用薬物の分析・同定に関する研究
539		19	インフルエンザワクチン需要予測に関する研究

540		20	粘膜投与等の新投与経路ワクチン研究における品質管理に関する研究
541		21	第Ⅷ、第Ⅸ因子製剤のインヒビター発生要因に関する研究
542		22	危機的出血に対する輸血ガイドライン導入による救命率変化および輸血ネットワークシステム構築に関する研究
543		23	ワクチンの有用性向上のためのエビデンス及び方策に関する研究
544		24	新型インフルエンザワクチンの性状及び免疫原性の正確、かつ迅速な評価方法に関する研究
545		25	院内血液製剤の適正な製造体制・順守基準に関する研究
546		26	日本における血液製剤の副作用サーベイランス体制の確立に関する研究
547		27	血液製剤の安全性向上のために実施される肝炎ウイルス等検査法の精度管理評価に関する研究
548		28	特殊な包装形態の医療用医薬品へのバーコードの表示方法等に関する研究
549		29	薬剤師の社会的役割を踏まえた医師との地域医療連携のあり方に関する研究
550		30	薬剤師の役割と倫理規範の実態に関する研究
551		31	薬剤師業務の在り方とその評価に関する研究
552		32	国際共同治験を前提としたG C P等の治験制度及びその運用のあり方に関する研究
553		33	「薬学教育実務実習指導ガイドライン」の策定に向けた調査研究
554		34	インフルエンザ様疾患罹患時の異常行動の情報収集に関する研究
555		35	経口糖尿病薬の臨床評価ガイドラインの策定及びその運用に関する研究
556		36	「診断用放射性医薬品に関する臨床評価ガイドライン」の作成に関する研究
557		37	献血者でのHBV-DNA陽性血におけるデルタ肝炎ウイルス感染の実態に関する研究
558		38	「抗うつ薬に関する臨床評価ガイドライン」の作成に関する研究
559		39	薬害肝炎の検証および再発防止に関する研究
560	化学物質リスク研究	1	メタボローム解析およびバイオマーカーを用いた化学物質の有害性評価手法の開発に関する研究
561		2	高感受性集団に於ける化学物質の有害性発現メカニズムの解明及び評価手法開発にかかる総合研究
562		3	形態形成期・思春期などの高感受性期にある集団での核内受容体作動性化学物質等の有害性発現メカニズムの解明及びその評価手法にかかる総合研究
563		4	ナノマテリアルの経皮毒性に関するトキシコキネティクスおよびトキシコプロテオミクス等の融合による有害性評価法・リスク予測法の開発
564		5	ナノマテリアルの経皮毒性に関する評価手法の開発に関する研究
565	健康安全・危機管理対策総合研究	1	地域横断的な健康危機管理体制の機能分化のあり方、評価指標、効果の評価に関する研究
566		2	通信連絡機器を活用した健康危機情報をより迅速に収集する体制の構築及びその情報の分析評価に関する研究
567		3	地域での健康危機管理情報の早期探知、行政機関も含めた情報共有システムの実証的研究
568		4	地域における健康危機管理におけるボランティア等による支援体制に関する研究
569		5	地域の社会情報及び地理情報を加味した健康危機情報の分析と支援システムに関する調査研究
570		6	健康危機発生時の迅速なる検査体制および原因究明に向けた連携体制構築に関する研究

571	7	地域における健康危機に対応するための地方衛生研究所機能強化に関する研究
572	8	飲料水の水質リスク管理に関する統合的研究
573	9	水道水異臭被害を及ぼす原因物質の同定・評価および低減技術に関する研究
574	10	迅速・簡便な検査によるレジオネラ対策に係る公衆浴場等の衛生管理手法に関する研究
575	11	公衆浴場におけるレジオネラの消毒方法に関する研究
576	12	屋内ラドンによる健康影響評価および対策に関する研究
577	13	健康危機管理における効果的な医療体制のあり方に関する研究
578	14	健康危機・大規模災害に対する初動期医療体制のあり方に関する研究
579	15	バイオテロの曝露状況の推定、被害予測・公衆衛生的対応の効果評価のための数理モデルを利用した天然痘ワクチンの備蓄及び使用計画に関する研究
580	16	国際連携ネットワークを活用した健康危機管理体制構築に関する研究
581	17	地域健康危機管理に従事する公衆衛生行政職員の人材開発及び人員配置に関する研究
582	18	火葬場における有害化学物質の排出実態調査および抑制対策に関する研究
583	19	健康安全・危機管理対策に関連する研究開発の動向と将来予測に関する研究